

第24回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト開催要項

1. 主催：長野県高等学校文化連盟、長野県高等学校視聴覚教育研究会
共催：信越放送株式会社
2. 後援：長野県教育委員会
協賛：エプソン販売（株） エイブイシーシステムズ株式会社
3. 主旨：放送活動を通じて高校生の豊かな人間性と美しく豊かな日本語を大切に
にする心情を育成すると共に、校内放送活動の健全な育成と推進をはかる。
4. 部門：○ビデオメッセージ（VM）部門 ○オーディオ・ピクチャー（AP）部門
○テレビ番組フリー（TF）部門 ○アナウンス部門 ○朗読部門
5. 会場：SBC信越放送 長野市吉田 1-21-24
6. 日時：平成17年 12月10日（土） 番組部門
(ビデオメッセージ、オーディオピクチャー、ビデオフリー)
受付 10:00～10:30 本館東口
12月11日（日） アナウンス、朗読部門
受付 10:00～10:30 本館東口

7. 内容

(1) アナウンス部門（1校6名まで）

郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿を作り、発表してください。

発表は、番号、学校名、氏名に続いて原稿を読むものとします。

原稿のタイトルは読まないでください。発表時間は、番号、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。

(2) 朗読部門（1校5名まで）

郷土にゆかりのある作家および作品の中から原文のままを一部選んで原稿としてください。

発表は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名に続いて原稿を読むものとします。

発表時間は、番号、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて2分以内とします。

(3) オーディオピクチャー（AP）部門（1校1作品）

郷土に関する話題を取り上げた、自校オリジナルの作品とします。ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など、手法は自由です。

MDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像を併用する作品とします。

発表時間は5分以内とします。

(4) ビデオメッセージ（VM）部門（1校2作品まで）

郷土に関する話題を取り上げた、自校オリジナルのビデオ作品とします。内容、手法は自由です。

発表時間は5分以内とします。

(5) テレビ番組フリー（TVF）部門（1校1作品）

題材・内容とも自由（アニメ・CM・ドラマ・その他まったくのフリー）時間は10分程度としますが、1～2分でもよい。

8. 規格

(1) デジタル静止画像（AP部門）

ア 画像形式の指定について

- ・ ビデオプロジェクターにより、パソコンからJPEG形式のデジタル静止画像（50画像以内、総容量は50MB以内）を投影するものとします。解像度は1024×768推奨とし、1600×1200以下で制作してください。

イ 画像の内容について

- ・ 他の著作物を使用する場合は各校で著作者の承諾を得てください。
- ・ コラージュ・テロップ挿入等の表現手法については制限をしません。

ウ 映写の方法、操作について

- ・ ビデオプロジェクターを1台使用できます。
- ・ デジタル静止画像のデータはCD-Rにより提出し、データを主催者が用意したパソコンのハードディスクにあらかじめ転送しておきます。
- ・ スライドショーに対応したソフト（フリーソフト Susie を使用）を利用します。

画面を順次切り替える操作は発表校が行ってください。

エ ファイル名の指定について

- ・他校とのデータの間違いや、投影順の混乱を防ぐため画像ファイル名は以下のようにつけてください。
(学校名+投影順を示す二桁の番号)

例：信州高校の場合

1枚目：shinsyu01.jpg 2枚目：shinsyu02.jpg ……以降同様

(2) 音声再生 (AP 部門)

- ア MD (標準モード・LPモードは不可) に1作品分を再生順に録音したものとします。(MD上で複雑に編集したものは再生トラブルの原因になるので1トラックにまとめておくようにしてください。)
- イ 再生エラーに備えてカセットに同内容のものを録音したのもも提出してください。
- ウ 再生と音量調節は、発表校で行ってください。

(3) ビデオ (VM 部門)

- ア miniDV (DV規格は民生用)・VHS・S-VHSのいずれかのテープに録画したものとします。
- イ テープスピードは、「標準 (SP) モード」とします。「長時間 (3倍・LP) モード」は使用しないでください。
- ウ 音声トラックは、miniDV方式では「12bit stereo 1」「12bit stereo 2」「16bit stereo」のいずれか一つ。VHS・S-VHS方式ではHi-Fi再生とし、音声のミックス再生などはいりません。
- エ 作品本編の前後に20秒間の静止画によるテストパターン (形式は自由) を録画してください。
- オ 作品の再生は主催者が行います。

(4) 共通事項

- ア 著作権、肖像権等の処理等については、参加団体で責任を持って行って下さい。
詳しくは、別紙「著作物の取り扱いについて」をごらんください。
これらの問題について、トラブル等が生じても、主催者は一切責任を持ちません。
 - ・音楽著作物の使用について、権利者の許諾を必ず得て下さい。
 - ・写真、ビデオ等の著作物については、必ず権利者の許諾を得て下さい。これらの点に問題があり、作品が上部大会等で公開できないと判断される場合、賞の取り消し。全国大会への推薦の取り消しを行うことがあります。
- イ 各部門とも、台本はNHK杯の要項規定に準じたものを作成し、所定の部数を当日受付へ提出してください。
(<http://hcon.dip.jp/>にも今年度NHK杯の要項を参考においておきます。)
- ウ 各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。

9. 参加申込について

締切を11月30日 (水) 正午とします。

【申し込み方法】

- ①下記ホームページにて参加登録してください。なお、インターネットにアクセスできない場合はFaxでも受け付けますが、極力ホームページから申し込んで下さい。
番組部門で、JASRAC管理曲を使用した場合は、録音利用明細書に記入したものを、この時点で事務局へFAXしてください。(今年度変更点です)
- ②確認のメールを指定のアドレスへ事務局より返送します。
12月1日 (木) 12時までには受付確認のメール (またはFAX) で返送するので、確認の上、間違い等がある場合、事務局まで大至急連絡をお願いします。(プログラム、賞状等の原稿になります。)
- ③当日までに、郵便局で、参加料、JASRAC管理曲の使用料を振り込んでください。(一緒に振り込んでいただいても結構ですが、内訳を必ず通信欄にわかるように記入してください。)
- ④正式の参加申し込み書 (学校長印のあるもの) を、当日参加受付まで提出ください。

第24回SBC杯長野県高等学校新人放送コンテスト事務局

参加受付等の大会HPアドレス <http://hcon.dip.jp/>

上田高等学校 宮崎潤 気付

電話0268-22-0002(代) Fax 0268-23-5390 email miyazaki@nagano-c.ed.jp

10. 提出物 参加部門により以下のものを当日受付へ提出してください

- ①参加申込書（校長印捺印の物） ※裏面に下記⑤を貼り付けてください。
- ②JASRAC録音利用明細書（テレビ部門、AP部門別）
- ③アナウンス・朗読原稿3部
- ④番組の台本3部、制作意図6部、作品テープ等
- ⑤参加費の郵便局への振込受領書の写し

※コンテストについて不明な点は、勝手に判断せず、上記事務局までお問い合わせ下さい。

- 1 1. 参加資格：長野県内の高校に在籍する卒業学年以外の生徒に限ります。
 - 1 2. 参加料：朗読・アナウンス部門は1人につき1,500円。
ビデオメッセージ、オーディオピクチャー、ビデオフリー部門は一作品2,500円。
 - ①受付当日までに郵便局でお支払い下さい。
 - ②振込先は
口座番号 00580-2-94101
加入者名 長野県高校放送コンテスト事務局
- ※通常払い込み料金加入者負担（受取人振込料金負担）で振り込んでいただいても結構です。
- ③振込まれた参加料等は、棄権等の場合もお返しできません。
- 1 3. 表彰：審査員は信越放送の専門職員と高視研放送専門委員が当たり、また表彰については各部門とも次の通りとしますが、程度によりその数を下回ることもあります。
最優秀1、優秀賞3、優良賞10（その他にアナウンスと朗読には、奨励賞10程度）

1 4. 上部大会への推薦について

(1) 全国高等学校総合文化祭への推薦について

平成18年度第30回大会は京都府京都国際会議場で平成18年8月5日（土）～6日（日）に行われるこの大会へ、以下の本数を推薦します。

- (1) アナウンス部門・朗読部門 各3名
- (2) オーディオピクチャー部門 1作品
- (3) ビデオメッセージ部門 2作品

※ ただし、（ビデオメッセージ部門、オーディオピクチャー部門）及び（アナウンス部門、朗読部門）内の同一校複数の推薦はしません。

(2) 北信越選抜放送大会（北信越地区高等学校文化連盟主催）への推薦について

平成17年度第2回大会は、平成18年2月11日（土）～2月12日（日）に新潟県長岡市で行われ、以下の本数を推薦します。

- (1) アナウンス部門・朗読部門 各6名
- (2) オーディオピクチャー部門 2作品
- (3) ビデオメッセージ部門 4作品

※ この大会への同一高校の推薦は、各部門1つとします。また、棄権、失格等が生じた場合は、繰り上げて推薦する場合があります。

※ これらの上部大会へ推薦された場合、アナウンス部門ではJPEG形式のデジタル静止画像（5画像以内）、朗読部門では効果音やBGMを併用することができます。

オーディオテープ (AP) 関係 210円× () 本= () 円

著作物の取り扱いについて

1 音楽著作権の取り扱いについて

校内放送研究NO136 (今年度NHK杯全国大会要項・本大会ホームページ <http://hcon.dip.jp/> にもあります。) の9ページの手順に準じて、使用した音楽の著作権処理を確実にお願いします。今年度より、JASRACの管理曲に関しては、NHK杯のときのように、一括してJASRACへ使用料を主催者が支払うこととします。ホームページで参加申込みをしたら、参加料とともに、所定の使用料 (ビデオテープ関係・1曲420円、オーディオ関係1曲210円) を、大会当日までに、郵便局で支払ってください。JASRACの管理外のものを使用した場合は、各高校の責任で処理を行うことになります。

【音楽著作物の手続き方法について】

- ① 校内放送研究NO136 (ホームページ参照) 様式4-7を参考に、レコード会社に音源の使用許諾の申請をし、許諾の回答を得てください。
(この段階で、レコード会社から使用料の請求がある場合もあります)
- ② レコード会社の許諾を得たものについて、様式4-8 (JASRACのホームページに未記入の様式があります) へ記入してホームページからのエントリーと同時に、速やかに事務局へFAXしてください。
(ア) 様式4-8へ記入するのは、NHK杯の要項にあるように、フリーの音源まで記入することはせずに、JASRACの管理下にある楽曲だけにしてください。
(イ) JASRACの管理下でない場合は、直接レコード会社等との交渉で、直接権利者へ使用料を支払うことになります。
(ウ) 楽曲がJASRACの管理下にあるかどうかは、JASRACのホームページのJ-WIDで確認できます。(<http://www.jasrac.or.jp/>)
(エ) JASRACの管理下の楽曲でも、外国曲 (JASRACの作品コードの2桁目が英文字もの) は、この取り扱いはできませんので注意してください。
- ③ 大会当日、様式4-7へ記入したものを他の提出物とともに、受付へ提出してください。その他JASRAC管理外のものを使用し、権利者と直接交渉した場合は、処理が完了したことがわかるものの写しを提出してください。
 - 大会エントリーから大会当日までに様式4-7の記載事項に変更が生じた場合 (なるべくこのような事態にならないようにしてください)
 - 追加して支払う必要が生じた場合 → 差額を事務局より指示の期限までに郵便局へ振り込んでください。
 - 使用しない楽曲が生じた場合 → 差額について、返金はできませんのでご了承ください。
- ④ その他の著作物 (著作権フリーの音源も含む) とともに、様式4-6に記入し、台本に添付してください。

2 写真・動画・文章など、その他の著作物について

- ① 著作者の許諾をできるだけ得るようにしてください。
- ② 新聞、雑誌、テレビ放送等、商業利用されている著作物については、特に許諾を得てください。許諾を得た場合については、そのことを示すものを台本に添付してください。
- ③ 引用に当たる場合も含め、使用した著作物は、様式4-6に記入し、台本に添付してください。

3 全般

- ① 主催者として、使用した著作物、肖像権などに関し、トラブルが発生しても、一切その責任を負うことはできません。各団体において、責任もってその処理にあたってください。
- ② 上部大会の申込みまでに著作権等の処理が完了しない場合は、入賞ならびに上部大会への推薦の取り消しを行う場合があります。